

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和3年7月13日(火) 午後1時30分～午後4時00分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 令和3年度における点検・評価の対象及び方法について (2) 各施策についての点検・評価 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
4 資 料	次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、令和3年度教育委員会の点検・評価報告書(案)、令和2年度教育行政方針
5 出 席 者	細渕富夫委員長、橋本正晴委員、岡野育広委員 (関係所管出席者) 高木教育総務課長、渋谷学校施設課長、清水教職員人事課長、藤田指導1課長、内河特別支援教育室長、山本高校教育課長、宮野健康教育課長、紺野教育研究所所長補佐、佐藤館岩少年自然の家所長、尾崎資料サービス課長 (事務局) 野津管理部参事、玉崎教育政策室長、片倉教育政策室長補佐、石原教育政策室主幹、鐘ヶ江教育政策室主任
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p>&lt;開 会&gt; 13時30分開会</p> <p>※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題(1) 令和3年度における点検・評価の対象及び方法について 事務局から、令和2年度における点検・評価の対象及び方法について説明後、各委員へ意見を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、評価の対象は「令和2年度教育行政方針」に記載された55事業とする。 評価の方法は、「令和3年度教育委員会の点検・評価報告書(案)」における教育委員会の自己点検・評価の記載に沿って各所管課から説明を行い、それに対して委員が意見を述べる、という方法で了承された。</p> <p>議題(2) 各施策についての点検・評価 令和3年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅱ 教育委員の活動状況(令和2年度)」、「Ⅲ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた主な対応」、「Ⅳ 点検・評価の結果(令和2年度事業対象)」において、「1 12年間の学びの連続性を生かした『真の学力』の育成」の16事業と「5 『未来を拓くさいたま教育』推進の</p>

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ための基盤整備」の9事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。

【説明】

[Ⅱ 教育委員の活動状況（令和2年度）]（教育総務課）

【主な意見及び質疑】

なし

【説明】

[Ⅲ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた主な対応]（教育政策室）

【主な意見及び質疑】

なし

【説明】

[Ⅳ 点検・評価の結果（令和2年度事業対象）]

< 1 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成 >

1-(1) ICTを活用した学びの改革

1-(2) アクティブ・ラーニングの充実

1-(3) 読解力向上に向けた学習指導の充実

1-(4) さいたまSTEAMS教育の推進

1-(5) 学校訪問を通じた確かな学力の育成

1-(6) さいたま市学習状況調査等の活用

1-(7) 市立高等学校「特色ある学校づくり」の充実

1-(8) 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の充実

2-(1) 保育所・幼稚園等・小学校の連携の推進

2-(2) さいたま市小・中一貫教育の推進

2-(3) 中・高の連続性を持った教育の推進

3-(1) 特別支援教育の推進

3-(2) 特別支援学級の全校設置の推進

3-(3) 通級指導教室の拡充

4-(1) スクールアシスタント配置の推進

4-(2) 子ども読書活動の推進

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

< 5 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備 >

1-(1) 学校における働き方改革の充実

1-(2) 教員の資質能力の向上

1-(3) 部活動指導員配置の推進

2-(1) セーフコミュニティと連携した学校安全の推進

2-(2) 学校安全体制の推進

2-(3) 自転車免許制度等の推進

3-(1) 過大規模校等教育環境整備の推進

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

3-(2)学校のリフレッシュ計画の推進

3-(3)学校トイレの洋式化等の推進

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

【主な意見及び質疑】

< 1 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成 >

1-(1) ICTを活用した学びの改革

(岡野委員)

- ・ ICT を活用した学びについては、これまでの教育実践と ICT を活用した教育実践のそれぞれの良さを生かし、ベストミックスを図り、最適な授業として充実するよう、引き続き、GIGA スクール構想を推進してほしい。

(細淵委員長)

- ・ 家庭での ICT 環境の整備はどのようにサポートしているのか説明してほしい。

(教育研究所)

- ・ 家庭の環境構築という意味では、インターネット通信環境の調査を行い、回答があった内、約 1,900 世帯ほどは通信環境がなかったので、国の補助事業等を活用し、ルータの貸出の支援をしている。引き続き、家庭での ICT 環境についてサポートをしていきたい。

1-(4)さいたま STEAMS 教育の推進

(岡野委員)

- ・ 研究委嘱校の研究結果と、継続される取組について説明してほしい。

(指導1課長)

- ・ 大宮北高校、浦和高校は理数教育、浦和南高校はスポーツを中心に研究している。研究校の1人1人（研究主任）を委員として集めて、カリキュラム作りをしている。学校で実施していた成果を集め、よい事例を集約し、よりよい教育課程になるよう努めている。また、研究発表を行い、実際に授業風景を見てもらい、それを各学校に持ち帰り、ノウハウを生かしてもらおう取組を行っている。

(岡野委員)

- ・ 研究委嘱校の研究の成果を共有し、各学校にて活用し、さらなる STEAMS 教育の推進を期待している。

(細淵委員長)

- ・ 令和4年度の「STEAMS TIME」の全校実施に向けて、スケジュール調整など難しそうではあるが、段階を踏み、着実に推進してほしい。

1-(8) 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の充実

(細淵委員長)

- ・ アンケート手法について説明してほしい。

(館岩少年自然の家)

- ・ 体験活動の前後で同じアンケート13問、4点法で回答をもらっている。例えば、天候が悪い時の活動と、良い時の活動の比較や、また、短時間での活動と、時間をか

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

けた場合の活動を比較するなど、アンケートの内容を工夫している。

(細渕委員長)

- ・「自然の教室」のプログラムは、どのように組み立てられているか説明してほしい。

(館岩少年自然の家)

- ・館岩少年自然の家でプログラムを用意しており、各学校に選択してもらっている。

(細渕委員長)

- ・自然体験活動でのアンケートによる効果測定や、プログラムの選定などを工夫し、児童生徒の「非認知能力」を上げていくため、引き続き、自然体験活動を推進してほしい。

#### 2-(2)さいたま市小・中一貫教育の推進

(岡野委員)

- ・小・中学校のそれぞれの教員が双方の授業を把握し、専門性を高め、小・中9年間の教科における学習内容の関連性を意識した指導をより一層充実させてほしい。

#### 4-(1)スクールアシスタント配置の推進

(細渕委員長)

- ・要望された全ての学校に配置されたのか説明してほしい。

(教職員人事課)

- ・原則、一校当たり2名で、各学校の実態に即して増員もしている。

(細渕委員長)

- ・スクールアシスタントの各学校への配置については、各学校の実態に即した配置になるよう工夫し、児童生徒へのきめ細かな支援を継続してほしい。

#### 4-(2)子ども読書活動の推進

(橋本委員)

- ・さいたま・ライブラリー・サポーターズとは、具体的にどのような取組なのか説明してほしい。

(資料サービス課)

- ・市内の中学生と高校生を対象に、夏休みを利用して図書館の仕事を体験するプログラムである。本の修理や本の整理、展示のディスプレイなど様々な取り組みを、2時間程度で実施している。令和2年度は11館で実施した。

(岡野委員)

- ・子どもの読書環境をより推進していくための取組について説明してほしい。

(資料サービス課長)

- ・第4次さいたま市子ども読書推進計画がスタートし、さいたま市子ども読書の日の創設や各図書館で資料の展示やイベントの開催などの取組を行うことで、子どもの読書環境をより一層推進していく。

(岡野委員)

- ・引き続き、子どもたちの読書活動が推進できるよう、各図書館における資料の展示やイベント等を工夫するとともに、家庭・地域・学校等と連携し、各取組を進めて

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

ほしい。

< 5 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備 >

1-(1) 学校における働き方改革の充実

(橋本委員)

- ・学校業務改善表彰の取組について説明してほしい。

(教職員人事課)

- ・業務改善に係る効果的な取組を普及するため、投票総数の多い学校をグッジョブ賞として4校、グッジョブ賞以外の取組で特に推進すべき取組を行っている学校をナイスアイデア賞として2校表彰した。

(橋本委員)

- ・学校業務改善表彰における業務改善に係る効果的な取組は、他の学校でもそのノウハウが共有できるよう積極的に検討してほしい。

(細淵委員長)

- ・学校における働き方改革については、モデル校を取り入れるなど、様々な工夫や改善を図り、教員が健康で能力を最大限発揮して働くことができるよう取り組んでほしい。

2-(3) 自転車免許制度等の推進

(岡野委員)

- ・自転車乗車用のヘルメットの配布や回収また、対応年数について説明してほしい。

(健康教育課)

- ・自転車乗車用のヘルメットの対応は JIS 規格で3年と認識している。また、通学時はヘルメットの着用は義務であるが、部活動の大会参加時など着用が難しい場合もある。教育委員会としては、生徒の安全確保のため、常に着用するよう指導している。

(岡野委員)

- ・自転車乗車用のヘルメットの着用については、引き続き、ヘルメットの配布を計画的に進め、着用率を向上させるとともに、児童生徒の安全に対する意識の醸成に努めるなど、安全指導の徹底を図ってほしい。

3-(1) 過大規模校等教育環境整備の推進

(橋本委員)

- ・義務教育学校の新設については、既存の小・中学校と異なる学年制になるため、子どもたちの心の面についても考慮しながら推進し、さらなる本市の教育の質の向上を目指してほしい。

(岡野委員)

- ・学校規模の不均衡の解消に当たっては、義務教育学校を始めとした新設校の設置や通学区域の調整など良好な教育環境の整備に努めてほしい。

3-(3) 学校トイレの洋式化等の推進

令和3年度  
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(岡野委員)

- ・学校トイレの洋式化については、今の子どもたちは洋式トイレに慣れ親しんでいるため、なるべく早期に洋式化が完了するよう、努めてほしい。

議題(3) 今後のスケジュールについて

事務局より、本日から8月にかけて計3回の会議を開催し、9月定例会期間中に議会へ報告書を提出、その後、各区の情報公開コーナー、市の公式ホームページにて報告書を公開する旨説明をした。

【各委員】了承

<閉 会> 16時00分閉会

【問合せ先】教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626